

ヒノキ (ヒノキ科)

名前の由来 (檜)

古代において火起こしに使われていたことから「火の木」、尊く最高のものであることを表す「日」から「日の木」と呼んでいたため

分 布

本州、四国、九州

特 徴

高さ 30m になる常緑樹

山地の尾根や山腹など、乾いた場所に多く生える

葉 鱗片状で交互に対生、先は鋭い、裏面に白い気孔線があり Y 字に見える

花 雄花は 3 mm の広楕円形で紫褐色、雌花は 3~5 mm の球形で緑色、5 月に開花

用途 **建築、家具材**、社寺林、公園樹

建築・家具材としては??

古くから最上の建築材として利用されてきた樹木であり、建設から 1300 年以上経つ奈良の法隆寺を始めとした歴史的建造物に使われ、また樹皮も屋根の檜皮葺 (ひわだぶき) の材料となっていました。

ヒノキは切ってから約 200 年の間強くなり続けると言われており、腐朽しにくく耐久性にも強い木材です。また、ヒノキ風呂などが愉しまれるように、気分を落ち着かせてくれる香りを漂わせるのもヒノキ。これはヒノキに含まれるヒノキチオールという成分の効能です。他にもヒノキには殺菌効果の期待できる成分が含まれているため、まな板などのキッチン用品にも用いられることがあります。

建築材としての特徴

腐朽しにくく耐久性、緻密弾力性に優れる

リラックス効果のある特有の香りを持つ

滑らかで、優しく心地の良い手触り

スギ (スギ科)

名前の由来 (杉)

真っ直ぐの木「直木」、上に進み登る木「進木」に由来

分 布

本州、四国、九州、屋久島

特 徴

高さ 40m以上になる常緑樹

山地の沢沿いなどに多く生える

幹が真っ直ぐ伸び、細い円錐形の樹形が美しい

葉 小形の鎌状針形でらせん状につく

花 雄花は楕円形で淡黄褐色、長さ約 5mm、雌花は約 4 mmの球状で緑色

用途 **建築**、器具材、社寺林、公園樹

建築・家具材としては??

成長が早く建築材としても優れ、古くから植林が行われており、日本の人工造林面積では最大です。

とても軽いのが特徴の杉は、とても家具が軽量で、アウトドアで使うものや折りたたみ式のテーブルなど移動させることが多いアイテムは杉にしておくとも持ち運びも容易です。

気密性が低く、反りの原因にもなる湿気を逃しやすいため、変形や狂いも生じにくいのもポイント。

スギの語源であるともされる「まっすぐな木」という言葉の通り、スギはまっすぐと伸びて成長するため、床材としても用いられることが多いです。

建築材としての特徴

中心は赤褐色やピンク系、年輪を重ねた外側は白系と、色の違いがはっきりしている

軽量・耐水性が良い

食のシーンにもよく合うほんのり甘い香り

アカマツ（マツ科）

名前の由来（赤松）

マツ科の中で、樹皮が特に赤みを帯びていることに由来

分 布

北海道（南部）、本州、四国、九州、屋久島、朝鮮半島、中国東北部

特 徴

乾燥部ややせた土地、表土の薄い尾根筋や岩山に多く、高さ 20~30m、樹皮は赤褐色

山地の沢沿いなどに多く生える

北海道では七飯町のアカマツ街道が有名、本州のアカマツ林ではマツタケが採れる

葉 針状で長さ 7~12cm、2 本 1 束でつく

花 雄花は黄褐色、雌花は紅紫色で今年伸びた枝の先につく、5 月に開花

用途 **建築**、庭園、街路樹、公園、器具材

建築・家具材としては??

松のことを「パイン」と言うが、パインには 50 種類以上もあり、イエローパインやホワイトパイン、アカマツなどが家具用木材として知られています。

その柔らかさから DIY 用の加工素材としても需要があり、値段も比較的手ごろで人気の木材です。

もとは白っぽい黄色であるが、全体的に油分が多いため経年変化により艶のある色合いへと変化していきます。木目のところどころに見られる節はナチュラルな風合いを感じさせ、温かみのある質感はカントリー調のダイニングテーブルや食器棚などにもぴったりです。

柔らかい分傷がつきやすいという特徴があります。

建築材としての特徴

柔らかいため加工しやすく、DIY にも最適

触り心地が良い

森林浴を思わせるような香り

木目に節が見られ、ナチュラルな風合い

ミズナラ（ブナ科）

名前の由来（水櫛）

水分を多く含んで燃えにくいことに由来

分 布

北海道、本州、四国、九州、千島、サハリン

特 徴

高さ 30m、太さ 1m 以上になり、山地に多いが海岸にも生える落葉広葉樹

日本の温帯林を代表する樹木

秋に熟す果実は、熊やリスなどの大切な食料となっている

葉 倒卵状長楕円形、長さ 7~20cm、大きな鋸歯縁、互生する

花 雄花序は黄緑色で尾状、長さ 6~8cm、雌花序は黄緑色、5~6 月に開花

用途 **高級家具材、建築**、器具材、椎茸の原木、公園樹

建築・家具材としては？？

耐久性に優れているため大型家具に用いられることが多く、床材としても人気の「ナラ（オーク材）」。

ナラとオークは厳密には違う木材ですが、特徴や色味が似ているため同じ種類として扱われていることもあります。基本的には日本や中国、ロシアで採れる木のことをナラ、北米で採れる木のことをオークと呼ばれています。

木目には虎の毛並みに似た虎斑（とらふ）という模様があり、人によって好みは分かれるが、虎斑の出ている部分が最も硬くて良いとされる部分と言われています。

ウイスキーの樽としても使われているなど、耐水性にも優れているため、台所周りのアイテムに用いられることも多い木材。重厚で硬いので反りが生じにくく傷もつきにくいいため、長年使い続けたい家具はナラのものを選ぶと良いとされています。

建築材としての特徴

虎斑という模様が見られる

重厚で硬いため、反りが生じにくく傷がつきにくい

耐水性に優れ、長年使い続けられる

ブナ（ブナ科）

名前の由来（樺・山毛櫨）

用途上の「分がない木」、風で葉が鳴る「ブーン鳴りの木」に由来

分 布

北海道（南西部）、本州、四国、九州

特 徴

世界遺産の白神山地で知られる冷温帯林を代表する落葉広葉樹

山地などの肥沃な場所に生える

北海道では、南西部の黒松内町や寿都町が北限とされている

葉 質やや厚く卵形～菱状卵形、長さ 4~10cm、波状鈍鋸齒縁、秋に黄葉、互生

花 雄花序は黄褐色で下垂、雌花序は黄緑色で花柱は淡褐色で上向き。5月に開花

用途 **建築**、器具材、公園樹、盆栽、パルプ材、果実は食べられる

建築・家具材としては??

家具材料の中でもよく使われる木材のひとつ「ブナ」。

木には水分を多く含み、果実には栄養分が豊富で山の動物たちにも人気なことから、森の豊かさを象徴する木でもあると言われています。

硬いのに曲げに強い、という性質を持っているため、曲げて使用されることが多く、家具の脚や背もたれでよく見かけられます。

色味は白っぽいいため、北欧風の家具のイメージにも合い、その柔らかな風合いから赤ちゃん用のおもちゃにも多く使われています。きめ細やかな木目と明るいカラーが可愛らしい木材です。

建築材としての特徴

白っぽい北欧風の色味と、きめの細かい柔らかな質感

硬さとしなやかさを併せ持つため、曲げ加工に強い

ケヤキ (ニレ科)

名前の由来 (櫟)

「けや」は「際だって目立つ」「美しい」と言った意味の「けやけし」に由来

分 布

本州、四国、九州、朝鮮半島、中国、台湾

特 徴

山野の川沿いなどに生える落葉広葉樹

高さ 30~40m

空に向かって手を伸ばすかのような樹形が端正で、春の新緑、秋の黄葉ともに美しい

葉 卵状披針形、長さ 2~10cm、左右不同、鋸歯縁。先はとがり、基部は円か心形

花 雄花は黄褐色、雌花の柱頭は黄白色で径約 3mm、5月に開花

用途 **建築**、器具材、街路樹、公園、庭園

建築・家具材としては??

硬く重たい大きな木に育つため、大黒柱や梁など大きな木材を必要とする部分に使われていることが多い「ケヤキ」。

特有のくっきりとした美しい木目が特徴的で、強靱で狂いも少ないという性質もあり、古くから日本で最良の広葉樹として扱われ、お寺の建築には欠かせないものとなっていました。和家具の木材としても有名で、お盆やお椀などの漆器、和太鼓や餅つきの臼や杵などとしても用いられ、格調の高さを感じさせる木材です。

建築材としての特徴

赤からオレンジの色味にくっきりとした木目

重厚感と格調高さ

柱として使われるほどの大きさと耐久性

☆世界三大銘木の紹介☆

世界で建築・家具材に使用される樹種を少し紹介します！

ウォールナット（クルミ科）

濃いブラウンから黒に近いブラウンまで、チョコレートのような色が印象的な「ウォールナット」は日本語でクルミのことを指します。西洋では富の象徴とされていたこともあるほどの高級木材で、今でも根強い人気があります。

反りや曲がり少なく狂いが生じにくいことから楽器用の木材としてもよく使われます。小さめの装飾品やインテリア雑貨より、テーブルなどの大きめの家具に使うと深い色味や艶がより映え、存在感のある印象を与えます。

ウォールナットの特徴

チョコレート色でまっすぐな縦縞の木目

耐衝撃性・加工性・接着性に優れている

高級感がありヴィンテージやレトロなお部屋と相性が良い

チーク（シソ科）

古くから高級家具や豪華客船などにも使われている高級木材の「チーク」。

湿気や水、虫害にも強く、耐久性も高いので長年使い続けることができます。天然の油分を含んでいるので、時とともにゴールデンチークカラーと言われる黄褐色に変化していき、深い味わいを楽しむことができます。

チークの特徴

独特の筋の入った美しい木目に黄褐色

湿気や水に強い

硬く丈夫な素材で、耐久性が高い

マホガニー（センダン科）

“黄金色”を意味する「マホガニー」は古くから宮殿の装飾に使われるなど、高級木材として人気があります。その人気から、今では天然木の伐採や取引が制限されているため、市場に出回っている数も少なく、希少な木材として価値が上がっているほど。

軽量で加工しやすいうえにとっても頑丈な性質から、繊細なデザイン家具ができると重宝されています。経年変化によって艶と赤みのかかった色へと変化していき、アンティークな落ち着いた風合いになっていきます。一定の周期で見られる縦縞模様の木目は1本1本をリボンに見立て「リボン杳」と呼ばれています。

マホガニーの特徴

アンティーク家具に使われるなど、上品な高級感が人気
寸法安定性や加工性に優れ、軽量